

町立図書館が入館者200万人を達成！ 200万人目は用土小の小久保文乃さん

町立図書館では、リニューアルオープンから20年目となる今年の8月6日に、通算入館者数200万人を達成しました。記念すべき200万人目の入館者は、小久保文乃さん(用土小3年)です。同日、轟教育長から認定書と記念品の目録が贈呈されました。小久保さんは「家族でよく図書館を利用しています。本が好きなので、これからもたくさん利用したいです」と話してくれました。



私たち、こども司書です！ 小学生が図書館で大活躍

8月20日と21日に、小学5・6年生6人が「一日こども司書」として、カウンター業務や書架の整理、本の装備など図書館ならではの仕事を体験しました。児童たちは「カウンターの仕事が楽しかった」「3階に古い本が保存してあることや、たまよど号が地下にとめてあることなど、新しい発見がいっぱいあった」「本の装備が難しかった」と話してくれました。



令和2年成人式運営委員会開催！ より良い成人式を目指して

令和2年1月12日の成人式に向けて、第1回目の会議を行いました。委員は、寄居・城南・男舎各中学校出身の19～21歳の卒業生で構成され「自分たちが主役の成人式」をつくり上げるために活動しています。委員の一人は「成人式本番に向けて、運営委員全員で力を合わせて準備を進め、当日を盛り上げていきたいです」と話してくれました。



鉢形城歴史館 体験教室開催！ 夏休みの思い出に「勾玉ペンダント作り」

8月10日と21日に、鉢形城歴史館で勾玉ペンダント作りの体験教室を開催しました。キリヤ糸のこぎり、紙ヤスリを使って石を加工し、世界に一つのオリジナル勾玉ペンダントを作りました。参加者は「みがくのが大変でしたが、ぴかぴかのペンダントができてうれしいです」「夏休みのいい思い出づくりになりました」「古代人はどうやって紐を通す穴を開けたのか気になりました」と話してくれました。



寄居女子サッカークラブが県大会出場！ 埼玉県少女サッカーフェスティバル

4月27日から7月21日に開催された「第17回埼玉県少女サッカーフェスティバル」に、寄居女子サッカークラブスポーツ少年団が出場しました。結果は、予選リーグを2位で通過し、決勝トーナメントでベスト8になりました。キャプテンの遠藤さんは「関東大会出場を目標にチームみんなで頑張ってきました！あと一歩だったので、秋の大会でも頑張りたいです」と話してくれました。

人権擁護委員とふれあう会開催！ あなたの街の相談パートナー人権擁護委員

7月24日に人権擁護委員とふれあう会が、特別養護老人ホーム「花ぞの」で開催されました。人権擁護委員と施設を利用されている皆さんが、歌やクイズなどで楽しくふれあい、話し合いタイムの中では心配ごとの相談も行われました。人権擁護委員は、毎月2回開催している「心配ごと相談」の相談担当者にもなっていますので、お気軽にご相談ください。



水天宮祭で啓発活動を実施しました！ 人権擁護委員が人権標語入りうちわを配布

8月3日の寄居玉淀水天宮祭に合わせ、玉淀河原周辺で、人権擁護委員の皆さんが人権啓発うちわを配布しました。うちわの裏面には、町内小学生による人権標語の優秀作品が掲載されています。うちわを配りながら、さまざまな人権問題に対して、一人一人の人権意識を高めることの重要性を呼び掛けました。



荒川いかだ下り2019開催！ いかだに乗って荒川を大冒険

「川の流に乗って、町を眺めたらどんな発見があるのだろう！」との思いから始まった荒川いかだ下り。8月18日、自作のいかだに乗った参加者たちは、埼玉の母なる川・荒川の流に身をまかせて、水しぶきを浴びながら下りました。普段見ることのできない荒川からの眺めは、寄居の新たな魅力に気付かせてくれる絶好の機会となりました。

